

ノタヌキモ

Utricularia aurea Lour.

タヌキモ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

分布する池沼が少なく、改修・補修などで失われやすい。(現況:R-)

形態

水中葉は長さ3~4cm、一つの節に大きく3裂する葉を付け、さらに立体的に細裂する。花は黄色で径6~7mm、花冠は丸みを帯びている。花後、花柄は下垂し、先が太くなる。

国内分布

本州、四国、九州。

県内分布

口能登区、加賀中央区、南加賀区。

生態など

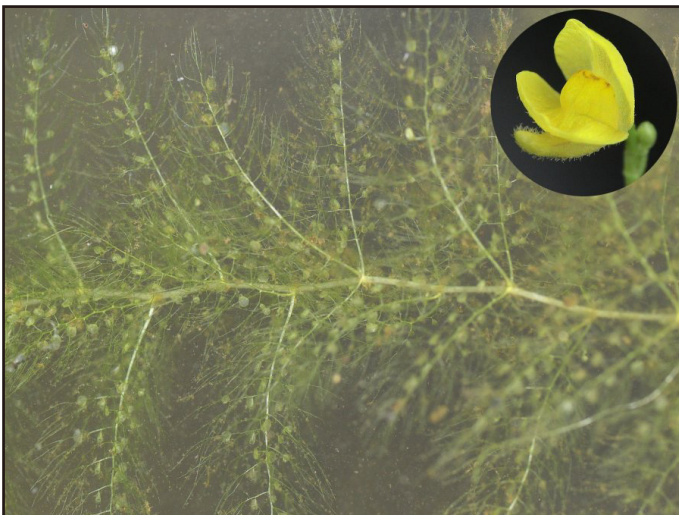
池沼に浮遊する1年生の食虫植物で、よく開花結実する。花期は8~10月。

生育環境

池沼。

危険要因

池沼開発、水質汚濁、園芸採取、自然遷移、池沼の清掃。



本多郁夫・2005年9月20日・加賀市・(花)白井伸和

分布図はありません。

県内の分布